



RIの新しい戦略計画と会員基盤向上について考える

2019年7月1日より、国際ロータリーの新しい戦略計画がスタートしました。

2007年から始まった戦略計画(当時は長期計画)ですが、その後、定期的に改定されながら、今回の抜本的な変更となりました。

2016-17年度の一年間を掛けて、現会員、元会員、ローターアクト、学友、青少年交換学生、ロータリー職員、その他一般の人びとを含めて、世界全体で100万人を超える人たちにアンケート調査などを行なった結果、将来のロータリーのあるべき姿や方向性がビジョン声明と言う形で発表されました。しかし4月の規定審議会でもローターアクトクラブがRIへの加盟が認められたことに伴い、和訳の「私たちロータリアン」の「ロータリアン」を削除して、英語のWEとそろえて、

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

と変更されました。

このビジョンに基づいて決定されたのが、今回の戦略計画であり、7月から実施される優先事項と目的であります。この優先事項や目標は、ビジョンを実現するための行動計画アクションプランと言う位置付けになっております。今回、この中から、会員基盤に関する項目をピックアップしてみると、以下のようになっています。

参加者の基盤を広げる

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する（会員数の増加と多様化推進）
- ・ロータリーへの新しい経路を創り出す（新しいタイプのクラブ創設）
- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める（多様性のある人材獲得）
- ・活動成果とブランドに対する認知を築く（イメージ向上による増強）

今年の国際協議会でも、ヒューコ事務総長は、クラブの柔軟性の更なる推進を強く訴えています。例会のあり方、新たな会員の種類の創設、若者を対象にした新しいタイプのクラブの創設などです。まさに、『世界を変える行動人』として、実践活動主体のクラブ運営を強く推進しようという方向性であります。

このようなRIの方針に従って各クラブが独自の具体的な行動計画を立てることは確かに、一つの考え方ですが、各クラブの独自性、個性も考慮し、行動計画を立てる事が肝要と考えます。

現在、革新性と柔軟性は、ロータリーの未来を定義するものであり、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という、ロータリーの新しい戦略計画(<https://my.rotary.org/ja/strategic-plan>)の基本的な柱となっています。

しかし、ポール・ハリスが言った「世界は常に変化して行く……ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない」と言う意味は、「ロータリーの奉仕の哲学を以て、日々変化する社会の要請に対応し、応えなければならない」と言う意味であります。

そのためには、まず何といたっても、クラブのビジョンづくりが大切であります。

一言でいえば、クラブの旗印が必要と言う事です。一体このクラブは何を目指しているのか、なぜこのクラブが必要なのか、なぜこのクラブに入らなければならないか、全員がストンと腹に落ちる答え、未来像です。言い換えれば、クラブの魅力づくりであり未来の成長戦略にとっての重要な土台となります。ロータリーを学びロータリーの未来を創造していただきたいと思っております。